

vol. 150
 令和3. 10. 1

三重護國



祭事暦

十月

一日 月次祭
 二十一日・二十二日 秋季慰霊大祭

十一月

一日 月次祭
 三日 明治祭
 十一月中 七五三祝
 二十三日 新嘗祭

十二月

一日 月次祭
 三十一日 年越大祓式
 除夜祭

一月

一日 歳旦祭
 十五日 どんど焼き

二月

一日 月次祭
 十一日 紀元祭
 十七日 祈年祭
 二十三日 天長祭

三月

一日 月次祭
 三日 春分の日
 春分祭
 おひなまつり
 春分祭



社頭風景

夏越大祓式

六月三十日、夏越大祓式を肅行した。大祓式は六月と十二月に行われる恒例式で、六月の大祓式を「夏越大祓式」という。半年間の罪穢れを祓い清め、無病息災を祈願した。

風鈴掲揚

昨年、新型コロナウイルスの影響により万灯みたま祭の提灯掲揚を中止した折、県内五十六の企業等から風鈴のご奉納をいただいた。今年も外拝殿の天井にずらりと掲げられ、涼やかな音色を響かせた。

七夕祭

七月七日の七夕祭にあわせ、津市内の障害者支援施設・生活介護施設等から七夕短冊のご奉納をいただいた。拝殿前に笹竹が立てられ、皆様の願いのこもった、多くの短冊が取り付けられた。

「あ、特攻」勇士之像 奉納奉告祭

公益財団法人特攻隊戦没者慰霊顕彰会・英霊にこたえる会三重県本部より「あ、特攻」勇士之像をご奉納いただき、八月十日、奉納奉告祭・除幕式を肅行した。

万灯みたま祭

本年は八月十三日・十五日をみたま祭期間とし、十三日に点灯式、十四日に式年みたま祭、十五日に終戦の日英霊感謝祭をそれぞれ肅行した。参列は一部の神関係者と遺族会役員のみとし、規模を縮小しての肅行となった。

式年みたま祭においては、本年の該当祭神九〇四柱をはじめ全御英霊の慰霊を申し上げた。

終戦の日英霊感謝祭では、全国戦没者追悼式の模様を放送し、戦没者の御霊に黙祷を捧げ、天皇陛下の御言葉を心静かに拝聴した。期間中は境内に約六千灯の提灯を掲げ、御英霊に感謝の誠を捧げ、恒久の平和と繁栄を祈念した。

主な団体参拝

- 神楽奉納 カジマ・リノペイト(株)
 (株)カナモト
 (株)ホーク
 大谷総業(株)
 岐建(株)
 出後遺族会
 三重県護国神社役員会
 三重県遺族会
 英霊にこたえる会 三重県本部
 終戦の日に護国神社に集う会

御厚意

清掃奉仕

日本を美しくする会

献本

- 「三重県神社誌(稿) 度会郡」 伊勢文化総合研究会
- 「ニューヨークの神道アイコン」 寒川神社
- 「わが神道の足跡―佐古一冽遺文集―」 学校法人 皇學館
- 「神社本廳七十五年誌」 神社本庁
- 「特別攻撃隊全史」 三重県隊友会

七夕短冊奉納団体芳名

- 津市 りんこの木
- 津市 障害者支援施設 聖マツテヤ心豊苑
- 津市 障害者支援施設津長谷山学園
- 津市 三重県身体障害者総合福祉センター
- 津市 津ワークキャンパス
- 津市 城山れんげの里
- 津市 サンフラワーガーデン
- 津市 つばさ久居
- 津市 障害者支援施設カザハヤ園
- 津市 三重県いなば園 すぎのき寮
- 津市 障害者支援施設まもり苑
- 津市 ソレイユキッズ津S01

永代神楽講入講者芳名

- (自令和三年五月十六日)
 至令和三年八月十五日)
- 伊勢市 山中 秀弥 松阪市 伊藤 盈
 - 鈴鹿市 廣田 行雄 津市 大井 利男
 - 四日市市 杉野ちあき・杉野心聡
 - 伊賀市 中原 克己 松阪市 西村 四郎
 - 志摩市 世古 清和 松阪市 鈴木綱五郎

永代献灯者芳名

- (自令和三年五月十六日)
 至令和三年八月十五日)
- 鈴鹿市 山添 智子 松阪市 奥田 洋弘
 - 津市 徳山 善文・徳山 智子
 - 鈴鹿市 町谷 準治

御奉納

遺品

- 津市 加藤友美子
- 津市 山口たか子
- 千葉県 種村 達也

「あ、特攻」勇士之像

特攻隊戦没者慰霊顕彰会
 英霊にこたえる会

三重県本部

人事

- 退任 神社責任役員 村林 謹一 四月三十日付
- 就任 神社責任役員 渥美 和生 五月一日付

お知らせ

当誌「三重護國」の発行につきまして、春号(四月一日)・夏号(七月一日)・秋号(十月一日)と年三回発行しておりましたが、諸般の事情により、来年より夏号を廃止することとなりました。今後は春号・秋号の年二回の発行となります。今後ともご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。